

スピーチ大会を通して、より深い相互理解を ～第7回日韓交流スピーチ大会を開催～

ソウル事務所

出場は狭き門！

クレアソウルでは、2006年（平成18年）3月より、JETAA¹大韓民国支部、在大韓民国日本国大使館と共催で日韓交流スピーチ大会を開催しています。

2005年は日韓国交正常化40周年にあたり「日韓友情の年」として様々な行事が開催されました。その翌年にあたる2006年に、前年に育まれた友情をさらに深め、日韓両国がお互いに抱えている問題や状況、文化等について日本人は韓国語で韓国人は日本語でスピーチすることで、お互いの国のことを相手の立場からより深く理解できるようにという思いから始まりました。

2011年は9月に募集が始まり、日韓合わせて140以上もの応募がありました。

10月には予選審査を通過した18名の本選出場者が発表され、街路樹のイチョウの葉っぱも黄色く色づいた11月19日に「第7回日韓交流スピーチ大会」が開催されました。

開催場所となった在大韓民国日本国大使館公報文化院には、7倍以上もの難関をくぐり抜けた、出場者の皆さんが集まりました。

はじめは緊張した面持ちで座っていましたが、少しずつ会場の雰囲気にも慣れ、休憩時には出場者同士での交流が始まっていました。また、会場には、出場者の応援に駆けつけた家族や友人、日韓交流に関心のある方々が多数来場し、大会を盛り上げました。

出場者の顔ぶれは様々で、今大会の出場者の中で最年少となった小学6年生から、60歳を超えた方まで、また遠くは釜山からの出場者もいらっしゃいました。残念ながら本選には進めませんでした。90歳を超える方からも応募があるなど、幅広い年代の方がお互いの国に関心を持っていることがうかがえました。



大勢の観客の前でスピーチ

言葉の学習と交流は一体

スピーチの内容は、語学の勉強を始めたきっかけや、学習時のエピソード、交流を通じて感じた日韓の文化・風習の違いなど多岐に渡りました。外国語を勉強する際には、ネイティブスピーカーとの交流が一番の近道と言われますが、ルームメイトや恋人、同僚といった身近な人との交流を通じて言葉を習得しただけでなく、文化や考え方などの違いに気

づいた過程などがそれぞれのエピソードとともに発表されました。スピーチからは、自分のことをもっと伝えたい・相手のことをもっと知りたいという思いが心の通った交流を生み出している様子や、言葉をコミュニケーションの手段の一つとして活用し、日韓双方に対するより深い理解や交流を目指している様子が伝わり、聴衆の皆さんもスピーチを聞きながら頷かれたり、時には涙ぐまれたり、会場全体が笑いに包まれたりと大いに盛り上がりました。



表彰式後の記念撮影

審査員・来場者の心をつかんだスピーチ

スピーチ後の審査員による協議の結果、大賞には日本語教師との交流がきっかけでそれまで興味のなかった日本語に関心を持ち、スピーチ大会に出場できるまでになったというエピソードを披露した韓国の高校2年生が選ばれました。また、日本語が持つ曖昧さを生かした会話での便利な表現方法、日本語の婉曲的な表現を使った愛情の表し方、美しい日本語の持つ力についてスピーチした3名の韓国人が特別賞に選ばれ、副賞として日本研修が贈られました。このほかにも、韓国での生活の中で経験した日韓の違いについて発表した日本人の小学6年生には未来賞が贈られるなど、今後も日韓両国の違いを尊重しながらお互いの理解を深め、多くの交流を生み出すことを期待し、日韓友情賞や人気賞、入賞などが贈られました。

スピーチ大会をきっかけに

この大会は、スピーチの流暢さばかりを競うのではなく、内容や話し方、熱意なども重要な要素となっています。時々つかえながらも、気持ちがこもったスピーチを聞くと、異なる文化や習慣に出会った時の驚きや楽しさ、時には相手の考えがなかなか理解できないことに対する戸惑いなどが伝わってきます。大会終了後に開催された交流会では、出場者や審査員、来場者が、スピーチでは話さなかったエピソードや感想、自分の経験などを伝え合い、交流の難しさ・面白さについて意見を交わしたり連絡先を交換したりするなど、新たな交流が生まれる場にもなりました。

これからも日韓両国の人々が、和気藹々と友好親善を深め、交流を進める場として、多くの方に参加していただきたいと考えています。

(武藤所長補佐 福島県派遣)

¹ JETAA (JET Alumni Association) は、JET プログラムを終了した卒業生有志を中心に平成元年に構成された親睦団体です。日本と JET プログラムに参加している諸国との相互理解を深めることを目的として活躍をしています。現在 JETAA の活動は 17 の国と地域にわたり、支部数は 52 支部、会員数は 2 万 4 千名以上。